

# 国語

## 【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。

設問部分に「マ」とあるものはマークシート問題、「記」とあるものは記述式問題です。マークシート問題・記述問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。

それぞれ所定の用紙・箇所に解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを、送りがなを含め「ひらがな」で書きなさい。（慣用読みは正解としない）

記1 感染の経路を詳らかにすることが求められた。

記2 連日の残業が祟つて体調を崩してしまった。

記3 万物は流転するという考えに影響を受ける。

記4 上司への悪口雑言は厳に慎むべきである。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ1 露わ〔あらわ〕

マ2 透かす〔とかす〕

マ3 塩梅〔えんばい〕

マ4 殺生〔さつしよう〕

マ5 日和見〔ひわみ〕

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ6 ショハンの事情により会を中止する。「1」諸範」「2」諸反」「3」諸般

マ7 フダンの努力が成果に結びつく。「1」不斷」「2」不団」「3」不段

マ8 両案はドウコウイキヨクと批判された。

〔1〕同工異曲 〔2〕同工異局 〔3〕同工異極

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる熟語が入ります。また、同じ解答が複数箇所に書いてある場合はすべて誤りとします。

記5 コウセイ物質の使用を検討する必要がある。

記 6 コウセイに残る偉大な発見をなしどげる。

記 7 丹念にコウセイを行つて誤字や脱字をなくす習慣を身につけたい。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあの語群からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

- |      |    |
|------|----|
| 記 8  | 概略 |
| 記 9  | 質素 |
| 記 10 | 寄与 |
| 記 11 | 莊重 |
| 記 12 | 律儀 |

【語群】

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ア・委細 | イ・募金 | ウ・華美 | エ・雄大 | オ・実直 |
| カ・総合 | キ・厳肅 | ク・規律 | ケ・軽微 | コ・貢献 |

第6問 次の文の空欄に入る語句としてよりふさわしいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ 9 多くの看護師の卵を「」にかけて育ててきた。

〔1〕手相 〔2〕手塩

マ 10 この論文は今後の研究に「」を投じるものとなろう。

〔1〕一石 〔2〕一球

マ 11 看護学の修得を目指して「」するつもりである。

〔1〕精魂 〔2〕精進

第7問 次の慣用表現の空欄に入るもつともふさわしいものひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ 12 肝を「」

〔1〕果たす 〔2〕流す 〔3〕渡す 〔4〕冷やす

マ 13 馬脚を「」

〔1〕負かす 〔2〕急かす 〔3〕現す 〔4〕洗う

マ 14 「」に沿わない

〔1〕衣 〔2〕威 〔3〕意 〔4〕位

第8問 次の語句の意味として、もつともふさわしいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ 15 噛（か）んで含める

〔1〕よく効く薬をのませる」と

〔2〕屁理屈をこねる」と

〔3〕わかりやすく丁寧に説明する」と

〔4〕やたらに子どもを甘やかす」と

マ 16 機転が利く

〔1〕将来の展望が開ける」と

〔2〕動きが敏捷である」と

〔3〕周囲の注目を一身に集める」と

〔4〕素早い状況判断や行動ができる」と

マ 17 猫をかぶる

〔1〕周囲の受けをねらって行動する」と

〔2〕本性を隠しておとなしそうにする」と

〔3〕すぐにばれる嘘をつく」と

〔4〕弱い自分を隠して強いふりをする」と

第9問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体の部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもつともふさわしい漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用する」とはできません。

記 13 「　」がもつれてうまく話ができない。

記 14 あっけない結末に「　」すかしを食わされた気分だ。

記 15 治療方針について、両者で「　」を割つて話し合う」とを勧めた。

第10問 次の傍線部のかなづかいが正しければマーク欄〔1〕を、誤つていればマーク欄〔2〕を、それぞれチェックしなさい。

マ 18 彼はいゝじ（意固地）になってしまった。

マ 19 ひどいでつう（頭痛）に悩まされる。

マ 20 気軽にとつで（遠出）できるまでに健康が回復した。

第11問 論述には、論理的に常に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものとがあります。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄〔1〕を、常に正しいとはかぎらなければマーク欄〔2〕を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、叙述の内容が実社会の現実と合っているとはかぎりません。

マ 21 看護師を目指している学生は国家試験を受験する。学生Aは国家試験を受験しない。  
ゆえに学生Aは看護師を目指していない。

マ 22

この病院の医師はみな都内の医学部を卒業している。この教授は都内の医学部を卒業している。ゆえにこの教授はこの病院の医師である。

マ 23

論文指導以外の理由で教授に呼び出されることはない。学生Aは教授に呼び出された。ゆえに学生Aは論文指導を受ける。

第12問 次の文と論理的に同じ内容となる文を選択肢からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

【注】叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを問うものではありません。

第13問 次の文章を読んで、後の間に答えなさい。

マ 24 県内の西部地域の総合病院はすべてヘリポートを備えている。

〔1〕西部地域以外の県内の総合病院はヘリポートを備えていない。

〔2〕県内では西部地域の総合病院だけがヘリポートを導入している。

〔3〕ヘリポートを備えていない総合病院があれば、それは県内西部地域以外である。

それとまったく同じことで、このような病人のうえに雨のごとくに降りそぞろ数々の忠告にも、彼らは耐えられない。やれそんな仕事は放棄せよとか、やれほかの医師に診せよとか、家を換えよ、転地せよ、この丸薬がよい、あの散薬がよい、特効薬がある、などといった類の忠告である。こうした忠告の一貫性のなさについては、もはや言うべき言葉もない。要するにこれら忠告者たちは、病人に対して、「医師に誤診はつきものだから」、いま診てもらっている主治医の診断による予後は信じないようにと勧めながら、同時に「ほかのある医師はいつも正しいから」ぜひこの医師のほうを信じるようにと、熱心に説き勧めるような人たちなのである。またこれら忠告者たちは、いずれも決まって、病人のいまの仕事の放棄を勧めていたが、一方、新しい問題を持ち込んで病人を仕事に駆り立てたりするのである。

素人であれ医師であれ、のこのこと病室にまで出向いてきて、その実行の可能性はおろか、患者にとっての安全性についてさえ知らないことを、患者に勧めて患者を悩ます友人や知人たち。彼らの「うううううううううう」は驚嘆に値する。それはちょうど、患者の骨折を知りもしないで運動を勧めるのと同じである。そんな友人が、もし仮に『自分が』医師であって、自分が担当する患者が、自分とは『別の』友人たちが見舞いにきて、誰がこれを勧め、彼があれを勧め、また誰それは何を勧めなかつたなら（ママ）などと騒いだあげくに、医師である自分の指示を無視して他人の忠告に従う、というような目に遭わされたとしたら、いつたい何と言うであろうか？しかし、世の人びとはけつしてここまで考えが及ばないのである。

歴史に名高いある人物がこんなことを述べている。この人物がある重要な決議事項を実施に移そうとしたとき、まる半年間というもの、来る日も来る日も、周囲の皆から、どれもこれも似たような陳腐な言葉で忠告や勧告を浴びせられつづけたという。ところがこの人物は、

それによって悩まされることは、少なかつた。というのは、彼は忠告する人にいつも同じ返事をしたからである、「このような重要な決議に際して、事前に充分な考慮や検討が行われなかつたとでもお考えなのですか?」と。何年間にもわたつて、来る日も来る日も手紙や『口頭』でもつて友人や知人たちから、この人物が受けたと同様の拷問を受けて耐えつづけている患者の方々に、彼と同じ返事で答えることを、私はお勧めしたい。それにしても、そんな友人知人たちがほんの一瞬でも頭を冷やして、患者はこの種の忠告を少なくとも五十回は聞かされてきたかもしれないし、もしこれが実行可能なことであれば、とつくる昔に実行に移されていたに違いないというふうに、ちよつと考えをめぐらしさえすれば、こんな問題はたちまちにして解消するであろうに。しかし、そのような思考はまず働かない。思えば人類はこうしたことに関しても、二、三百年昔とちつとも変わつていない。これは奇妙なことであるが事実である。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書（改訳第7版）』湯楨ます ほか訳（現代社）

マ 25～30 次の各文が本文の内容と合つていればマーク欄「1」を、合つていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ 25 ズうずうしい医者は、自分の指示を無視して他人の忠告に従う、というような目に遭わされると腹をたてる。

マ 26 拷問のような忠告に耐えつづけている患者には、忠告者が投げかけるのと同じことばをそのまま返すよう、私は勧める。

マ 27 忠告の内容が実行可能なことであれば、それを実行することで患者に起つる問題はすぐにも解消する。

マ 28 周囲の者たちから似たような陳腐な言葉で忠告や勧告を受けつづけたある人物は、忠告する人たちに、事前に考慮も検討もしていないと思うかと、同じ返答をしつづけた。

マ 29 患者に対して一貫性のない忠告をつづける人たちには、患者の弱い立場につづけんでいるのである。

マ 30 いま診てもらつてある主治医の診断は信じないと勧める忠告よりも、ほかのある医師のほうを信じるように勧める忠告のほうが、より有害である。

第14問 次の文章を読んで、後の間に答えなさい。

人工知能が個人情報を駆使して医療に関わるようになると、どのようなリスクがあるのか、それに対してどのような配慮が必要なのか、もう少しくわしくみてみよう。

人工知能が発達し続けると、予想されるリスクとして、よくいわれるのは、いまは人間がやつていろいろな作業を、人工知能がずっと上手にこなすようになって、人間から職を奪うのではないか、という「ア」だ。「ア」、高度に自律した情報処理と判断決定の

能力を人工知能に与えると、人間が守りたい権利や尊厳に反する、人間が持つ価値観とは異なる判断が重なつて、結果として人間の安全・安心を<sup>A</sup>オビヤカスようになるのではないかとの「ア」もある。

「b」、人工知能が人間の①を侵す決定をしないように、設計段階から人間の価値観を学習させて運用することが求められている。その際に大きな問題になるのが、「アルゴリズムのバイアス」である。人工知能に学習させるプロセスに、それを設計する研究者・技術者あるいは社会全般が持っている、特定集団などへの偏見を含む②が反映されると、その学習から導き出される判断や決定に悪影響を与えることになる。医療の分野でいえば、たとえば、認知症を伴う後期高齢者や障害者、外国人などを対象にした診療の困難さばかり強調したデータを学習させると、そうした特定のグループに対して必要な医療を行う判断が導かなくなる恐れがある。偏りのない学習をさせ、こうした事態が起ころる「イ」を防ぐことを、人工知能を開発する研究者・技術者は求められている。

「c」、そのようにして人間の価値観を備えた人工知能がつくられたとしても、そもそも人工知能にこうした価値判断をさせてよいのか、という問題は残る。これは医療などの現場で、人工知能を何らかの決定に用いる際の、③である。

人工知能が医療上の判断（診断や治療方針の決定）に関与した場合、その判断の結果、健康被害などが起こつてしまつたら、誰が責任を負うのだろうか。悪いのは医師か、人工知能か？

この点について検討した報告書をフランス議会の特命委員会が二〇一九年に出している。それによると、医師は、自らの側に「ウ」があつたことについてのみ、損害賠償などの法的責任を負う。用いられた人工知能のプログラムなどに欠陥があれば、設計者や製造者の責任が問われる。「d」、人工知能を医療において使うのは、ほかの医療用具を使うのと同じで、使う側の医師の責任と、用具を設計・製造・販売した側の責任を分けて考えればいい。

また、同報告書は、人工知能が<sup>B</sup>スイシヨウした判断に医師が従わなかつたことで有害な結果が起こつた場合は、たとえ人工知能の判断が正しかつたとしても、それに従わなかつたという事実だけで、医師に過失責任を負わせることはできないとしている。これは、医師という高度の専門職に与えられた自律と裁量の権利を「エ」ためだという。

現状では、人工知能は医療の現場で判断をすべて任せられるような自律性も信頼性も備えていない。あくまで医師の判断を補助する道具（要はレントゲン写真や血液検査などと同じ）にすぎない。しかもまだ試験研究段階の新しい技術だ。人工知能を用いる医療は、いま実証研究の途上にある。それもまた臨床研究の一種である。

その臨床研究が重ねられた結果、安全性と有効性が認められれば、医療用人工知能プログラムが、現場で「オ」に私たちを迎える日が来る。そのときでも、c人工知能は医療用具の一つであるといいう位置づけを、変えるべきではないだろう。道具に欠陥があれば製造・販売者の責任、道具の使い方にまちがいがあれば使つた医師の責任になる。つまり、人工知能を用いてくだされた判断に対する責任は、④、ということである。

それならば、安心して人工知能を使つた医療を進めてもよいと、考えていいだろうか。あなたは、自分が人工知能を用いる医療の臨床研究の対象になることに、進んで同意しようと思えるだろうか。

櫻島次郎『先端医療と向き合つ』(平凡社新書945)

記16 傍線部Aの「オビヤカス」を漢字と送り仮名（ひらがな）で書きなさい。

記17 傍線部Bの「スイショウ」を漢字で書きなさい。

マ31 空欄  ① に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕安全と権利や尊厳
- 〔2〕自律した情報処理と判断能力
- 〔3〕医療との関わり
- 〔4〕職業選択の自由

マ32 空欄  ② に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕偏った価値観
- 〔2〕公正な価値観
- 〔3〕普遍的な価値観
- 〔4〕病的な価値観

マ33 空欄  ③ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕技術開発に関する課題
- 〔2〕プロトコル（手順）の決定に関わる課題
- 〔3〕患者のQOL（生の質）に直結する課題
- 〔4〕責任のあり方につながる課題

マ34 空欄  ④ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕いずれにせよ社会全般に帰せられる
- 〔2〕いずれにせよ人工知能の今後の研究開発次第
- 〔3〕いずれにせよ道具自体に帰せられる
- 〔4〕いずれにせよ人間の側が負わなければならぬ

マ 35 文中の「ア」から「オ」に入る組み合わせとして最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- |          |        |       |          |        |
|----------|--------|-------|----------|--------|
| 〔1〕〔ア〕予見 | 〔イ〕脆弱性 | 〔ウ〕不調 | 〔エ〕行使する  | 〔オ〕恒常的 |
| 〔2〕〔ア〕危機 | 〔イ〕異常性 | 〔ウ〕怠慢 | 〔エ〕認める   | 〔オ〕友好的 |
| 〔3〕〔ア〕懸念 | 〔イ〕連続性 | 〔ウ〕責任 | 〔エ〕強める   | 〔オ〕全面的 |
| 〔4〕〔ア〕事実 | 〔イ〕危険性 | 〔ウ〕誤解 | 〔エ〕手に入れる | 〔オ〕積極的 |
| 〔5〕〔ア〕危惧 | 〔イ〕可能性 | 〔ウ〕過失 | 〔エ〕守る    | 〔オ〕日常的 |

マ 36 ～ 39 文中の「**a**」から「**d**」に入る最もふさわしいものを以下からそれぞれひとつずつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。同じ語の重複使用は認めません。なお、使用しないものが一つあります。

- |            |            |            |            |        |
|------------|------------|------------|------------|--------|
| マ 36 〔 a 〕 | マ 37 〔 b 〕 | マ 38 〔 c 〕 | マ 39 〔 d 〕 |        |
| 〔1〕たとえば    | 〔2〕だが      | 〔3〕つまり     | 〔4〕そこで     | 〔5〕さらに |

記 18 傍線部Cの「人工知能は医療用具の一つであるという位置づけを、変えるべきではない」とあるがそれはどういうことか、簡潔に説明しなさい。解答は五〇文字以上六〇文字以下の一文で記すこと。句読点も一字分とします。冒頭の一字下げは不要です。